

北海道における自殺の現状

1. 自殺者数・自殺死亡率の推移

- 厚生労働省「人口動態統計」によると、本道における自殺者数は、平成10年に、前年から403人増加して1,517人となって以降、毎年1,500人前後で推移していましたが、平成21年以降は減少を続け令和2年は881人となりましたが、令和3年は増加に転じ903人となりました。
- 性別で見ますと、平成元年から平成7年まで波はあるもののおよそ男性65%、女性35%の構成比でした。しかし、平成8年、平成10年に男性の割合が70%を超え、以降平成21年まで70～74%で推移しています。平成22年に男性の割合が70%を下回り、令和3年は男性64%、女性36%の割合となっています。
- 令和3年における本道の人口10万人当たりの自殺死亡率は17.5で、全国平均の16.5を上回っており、都道府県別では47都道府県中13番目に高い数字となっています。

〔北海道の自殺者数・人口10万人当たり自殺死亡率の推移〕

年	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
自殺者数(人)	1,039	907	860	982	878	984	953	1,008	1,114	1,517	1,490	1,509	1,335	1,391	1,531	1,491	1,534
男性	663	592	552	644	567	649	637	705	727	1,092	1,071	1,103	985	1,006	1,095	1,097	1,120
女性	376	315	308	338	311	335	316	303	387	425	419	406	350	385	436	394	414
道自殺死亡率	18.4	16.1	15.2	17.4	15.5	17.4	16.8	17.7	19.6	26.7	26.2	26.6	23.6	24.6	27.1	26.5	27.3
国自殺死亡率	17.3	16.4	16.1	16.9	16.6	16.9	17.2	17.8	18.8	25.4	25.0	24.1	23.3	23.8	25.5	24.0	24.2

H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1,475	1,462	1,546	1,439	1,392	1,311	1,206	1,145	1,080	1,045	930	918	905	884	881	903
1,077	1,065	1,092	1,018	986	889	856	803	740	714	664	622	626	618	538	576
398	397	454	421	406	422	350	342	340	331	266	296	279	266	343	327
26.4	26.3	28.0	26.2	25.4	24.0	22.2	21.2	20.1	19.5	17.5	17.3	17.2	17.0	17.0	17.5
23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5

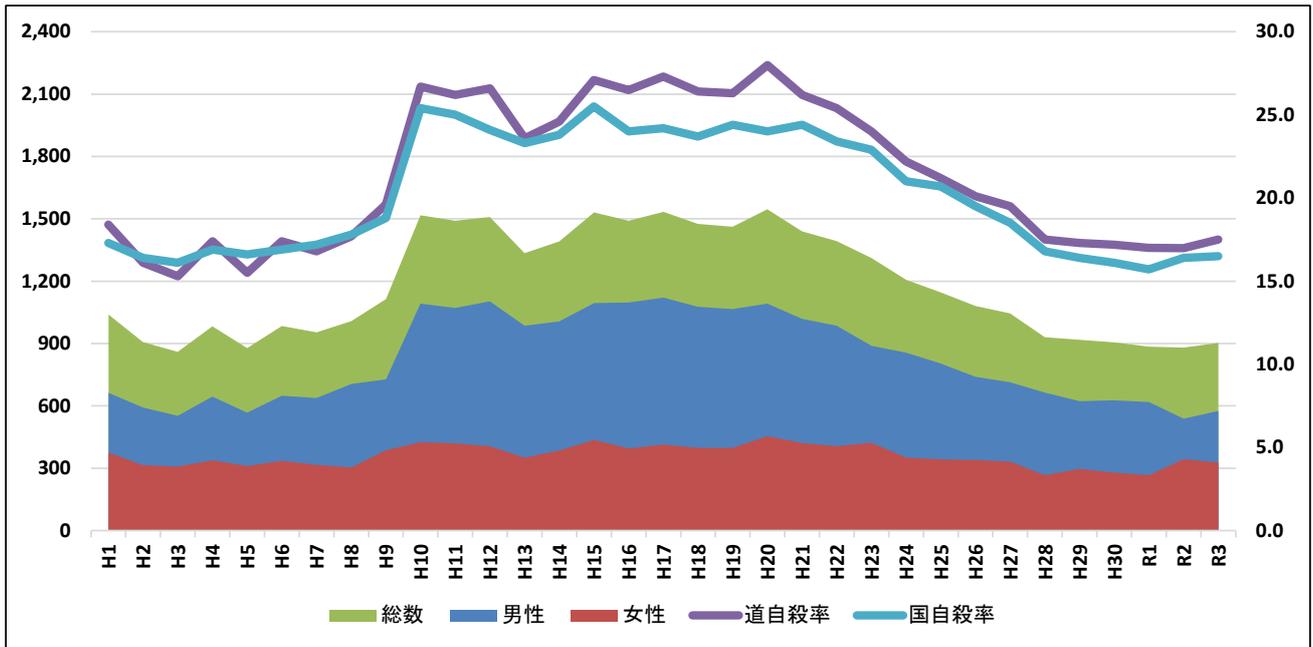
(厚生労働省人口動態統計)

〔全国の自殺者数(人)〕

統計種別	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
厚生労働省人口動態統計	21,125	20,088	19,875	20,893	20,516	20,923	21,420	22,138	23,494	31,755	31,413	30,251	29,375	29,949	32,109	30,247	30,553
警察庁自殺統計	22,436	21,346	21,084	22,104	21,851	21,679	22,445	23,104	24,391	32,863	33,048	31,957	31,042	32,143	34,427	32,325	32,552

H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,021	20,468	20,031	19,425	20,243	20,291
32,155	33,093	32,249	32,845	31,690	30,651	27,858	27,283	25,427	24,025	21,897	21,321	20,840	20,169	21,081	21,007

※ 厚生労働省の人口動態統計は、日本人を対象とし、住居地を基に計上しています。
警察庁の自殺統計は、総人口(日本における外国人も含む。)を対象とし、発見地を基に自殺死体発見時点で計上しています。



2. 性別・年齢階級別状況

- 令和3年の年齢別自殺者数は、全国、北海道ともに50代が最も多く、次に40代、70代の順に多くなっています。
- 北海道の自殺を男女別で見ると、男性は40代が最も多く、次に50代、同数で30代、60代と続きます。女性は50代が最も多く、次に70代、80代以上と続きます。全国において男性は40代が最も多く、次に50代、30代と続きます。女性は50代が最も多く、次に70代、40代と続いています。
- 北海道における年齢階級別自殺者数の推移をみると、令和2年から令和3年にかけて、20代の自殺者数が増加しており注意が必要です。

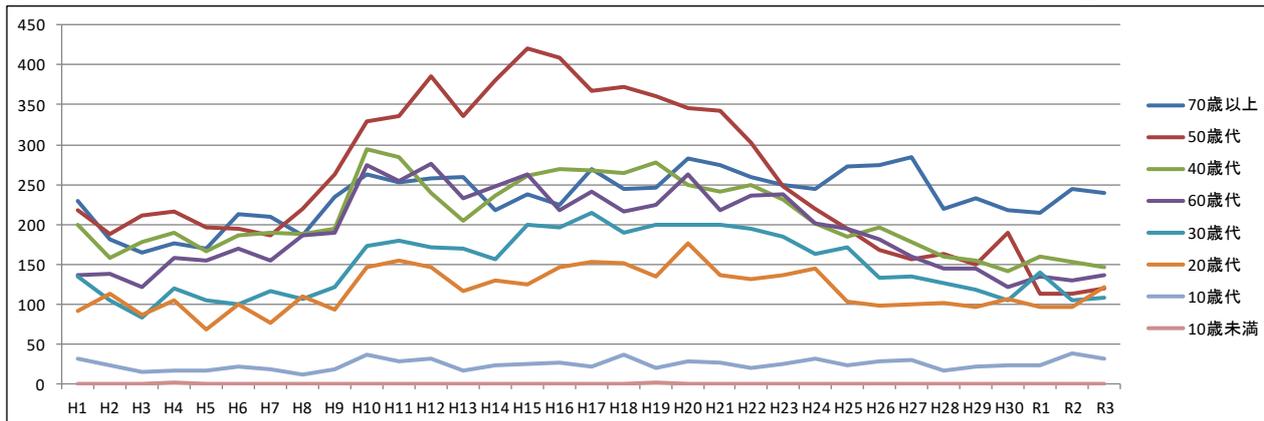
[令和3年の性別・年齢階級別状況]

(厚生労働省人口動態統計)

		10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不詳	合計	
男性	道	自殺者数	0	19	77	77	100	89	77	74	63	-	576
		割合	0.0%	3.3%	13.4%	13.4%	17.4%	15.5%	13.4%	12.8%	10.9%	-	100.0%
	国	自殺者数	0	440	1,649	1,753	2,450	2,416	1,652	1,820	1,295	33	13,508
		割合	0.0%	3.3%	12.2%	13.0%	18.1%	17.9%	12.2%	13.5%	9.6%	0.2%	100.0%
女性	道	自殺者数	0	12	44	31	37	58	42	56	47	-	327
		割合	0.0%	3.7%	13.5%	9.5%	11.3%	17.7%	12.8%	17.1%	14.4%	-	100.0%
	国	自殺者数	2	320	877	724	1,022	1,081	839	1,063	851	4	6,783
		割合	0.0%	4.7%	12.9%	10.7%	15.1%	15.9%	12.4%	15.7%	12.5%	0.1%	100.0%
合計	道	自殺者数	0	31	121	108	137	147	119	130	110	-	903
		割合	0.0%	3.4%	13.4%	12.0%	15.2%	16.3%	13.2%	14.4%	12.2%	-	100.0%
	国	自殺者数	2	760	2,526	2,477	3,472	3,497	2,491	2,883	2,146	37	20,291
		割合	0.0%	3.7%	12.4%	12.2%	17.1%	17.2%	12.3%	14.2%	10.6%	0.2%	100.0%

〔北海道における年齢階級別自殺者数の年次推移〕

(厚生労働省人口動態統計)



3. 死因順位

- 死因順位のうち、北海道における自殺は、平成元年が第6位、平成2年から平成6年までが第7位、平成7年から平成21年まで第6位でしたが、平成23年から平成28年まで第8位、平成29年から令和3年まで第10位圏外となっています。
- 令和3年における全国の年代別死因順位をみると、総数においては10～39歳の各年代において第1位となっており、10～69歳までの幅広い年代において第10位圏内に入っています。令和2年における北海道では、10歳から39歳の各年代において第1位となっており、10～64歳までの幅広い年代において第5位圏内に入っています。

〔北海道と全国における自殺の年次別死因順位〕

(厚生労働省人口動態統計)

年次	H1	H2～6	H7	H8～19	H20～21	H22	H23～24	H25	H26～28	H29	H30	R1～3
北海道	第6位	第7位	第6位	第6位	第6位	第7位	第8位	第8位	第8位	10位圏外		
全国	第7位	第7位	第7位	第6位	第7位	第7位	第7位	第7位	第8位	第9位	第10位	10位圏外

〔全国における年齢階級別自殺の死因順位 上位10位まで(R3)〕

年代	総数		男性		女性	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
5～9	-	-	-	-	第7位	1.5
10～14	第1位	29.0	第1位	24.6	第1位	34.5
15～19	第1位	52.5	第1位	50.3	第1位	56.3
20～24	第1位	58.9	第1位	57.0	第1位	62.4
25～29	第1位	53.4	第1位	54.2	第1位	51.9
30～34	第1位	41.2	第1位	44.9	第1位	34.5
35～39	第1位	30.2	第1位	33.4	第2位	24.3
40～44	第2位	21.3	第1位	24.2	第2位	16.6
45～49	第2位	14.2	第2位	15.8	第2位	11.5
50～54	第3位	8.8	第3位	9.5	第2位	7.7
55～59	第4位	5.9	第4位	6.1	第4位	5.5
60～64	第5位	3.2	第5位	3.1	第4位	3.4
65～69	第7位	1.7	第7位	1.6	第6位	2.0
70～74	-	-	-	-	第8位	1.4

※ 割合(%)は、それぞれの年齢別死亡数を100とした場合の自殺の占める割合
(厚生労働省人口動態統計)

〔北海道における年齢階級別自殺の死因順位 上位5位まで(R2)〕

年代	総数		男性		女性	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
5～9	-	-	-	-	-	-
10～14	第1位	28.6	第1位	40.0	-	-
15～19	第1位	53.8	第1位	54.8	第1位	52.2
20～24	第1位	60.0	第1位	54.0	第1位	82.4
25～29	第1位	53.8	第1位	50.8	第1位	60.7
30～34	第1位	38.3	第1位	41.6	第1位	31.8
35～39	第1位	27.4	第1位	29.9	第2位	22.9
40～44	第2位	16.6	第1位	18.3	第2位	13.4
45～49	第2位	11.7	第3位	12.7	第2位	10.0
50～54	第3位	9.2	第4位	7.8	第2位	11.4
55～59	第4位	5.2	第4位	5.7	第4位	4.4
60～64	第5位	2.7	-	-	第4位	3.7
65～69	-	-	-	-	第5位	2.5
70～74	-	-	-	-	-	-

※ 割合(%)は、それぞれの年齢別死亡数を100とした場合の自殺の占める割合
(北海道保健統計年報)

4. 地域別状況（保健所別集計）

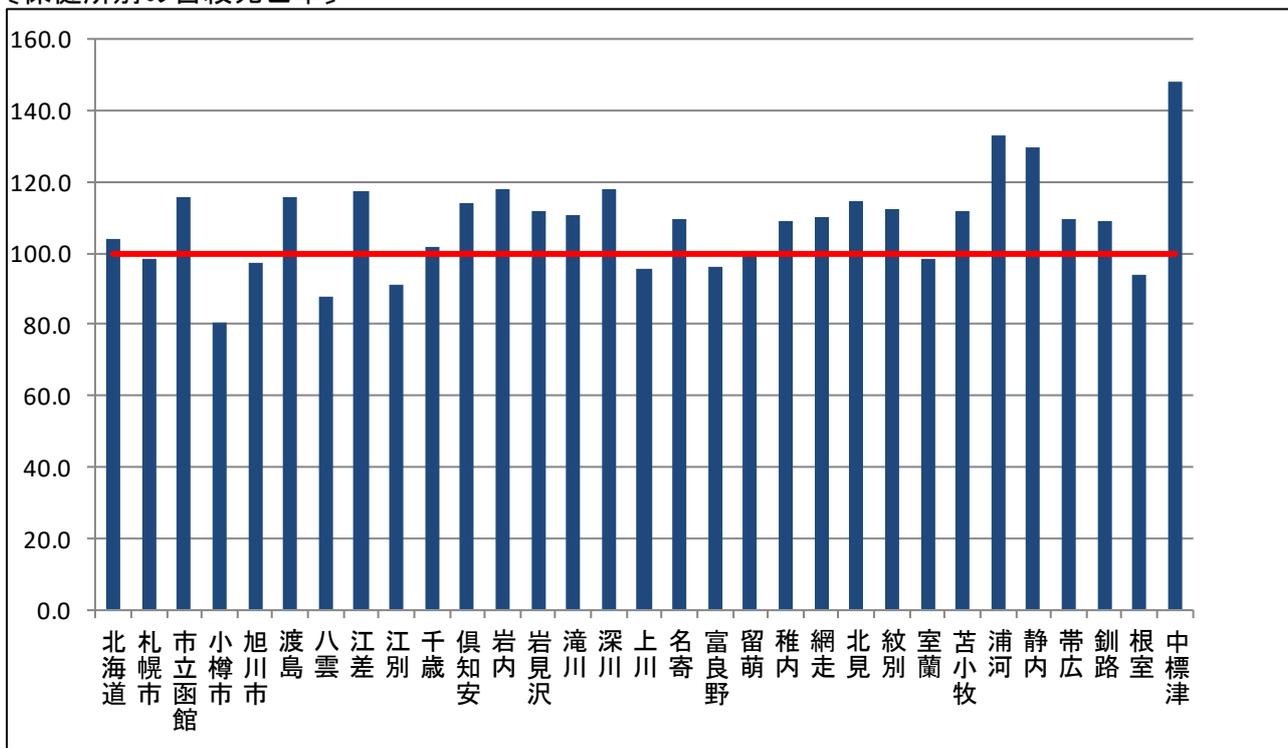
- 平成22年から令和元年までの10年間における自殺者数を集計し、同じ年齢構成の集団になるよう修正して計算された死亡率（SMR：全国の値を100とした場合の標準化死亡比）においては、最も低い地域で80.8、最も高い地域が148.3と大きな開きがあります。

〔保健所別の自殺死亡率〕

保健所	SMR (標準化 死亡比)	保健所	SMR (標準化 死亡比)
全国	100.0	上川	95.7
北海道	103.8	名寄	109.5
札幌市	98.3	富良野	96.0
市立函館	115.6	留萌	100.4
小樽市	80.8	稚内	109.2
旭川市	97.2	網走	110.2
渡島	115.6	北見	114.7
八雲	88.0	紋別	112.3
江差	117.4	室蘭	98.4
江別	91.2	苫小牧	112.0
千歳	101.8	浦河	133.2
倶知安	114.1	静内	129.5
岩内	118.1	帯広	109.5
岩見沢	111.7	釧路	109.1
滝川	110.5	根室	93.7
深川	118.1	中標津	148.3

「SMR(標準化死亡比)」
 (北海道における主要死因の概要10～令和2年12月 財
 団法人北海道健康づくり財団発行)
 地域による年齢構成の違いを考慮して、同じ年齢構成の
 集団になるよう修正して計算された値
 各市町村の平成22年から令和元年の10年間における
 自殺者数(人口動態統計)をまとめ、比を使って全国を
 100として示したもの

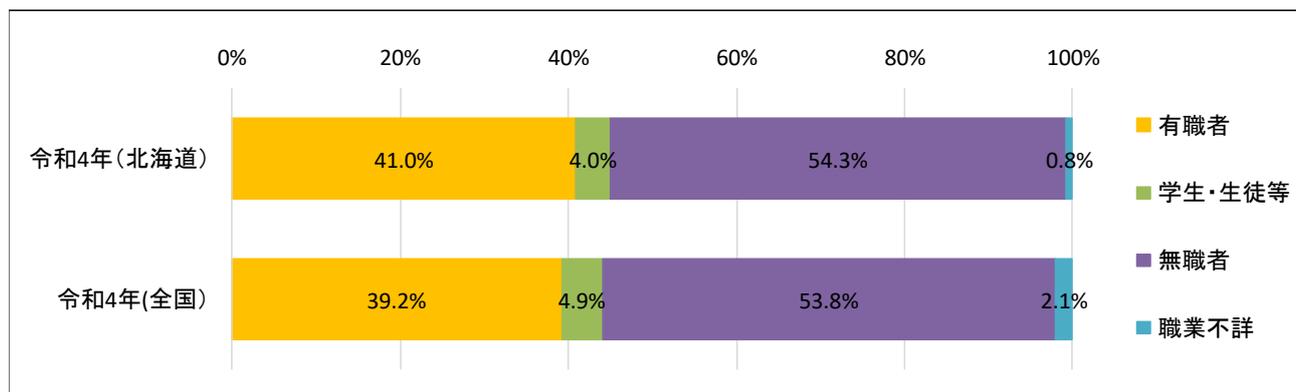
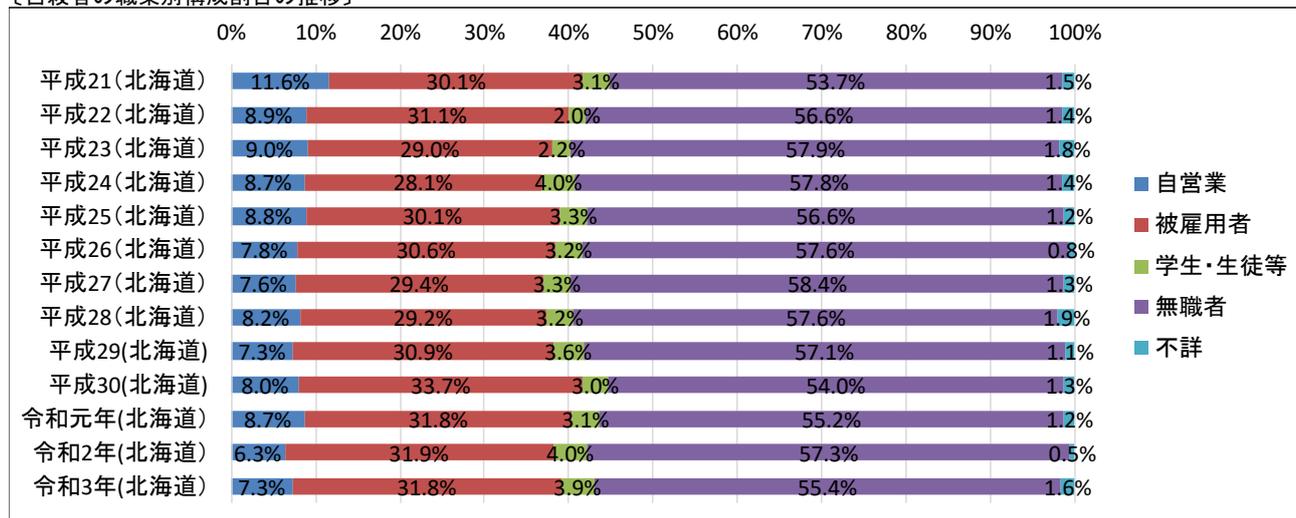
〔保健所別の自殺死亡率〕



5. 職業別状況（警察庁自殺統計）

- 令和4年における自殺者の職業別状況を見ると、北海道では「有職者」が41.0%、「無職者」が54.3%となっており、「無職者」の方が多くなっています。
- 北海道と全国を比較すると、北海道の方が「有職者」、「無職者」の割合が大きく、「学生・生徒等」、「職業不詳」の割合が小さくなっています。

〔自殺者の職業別構成割合の推移〕

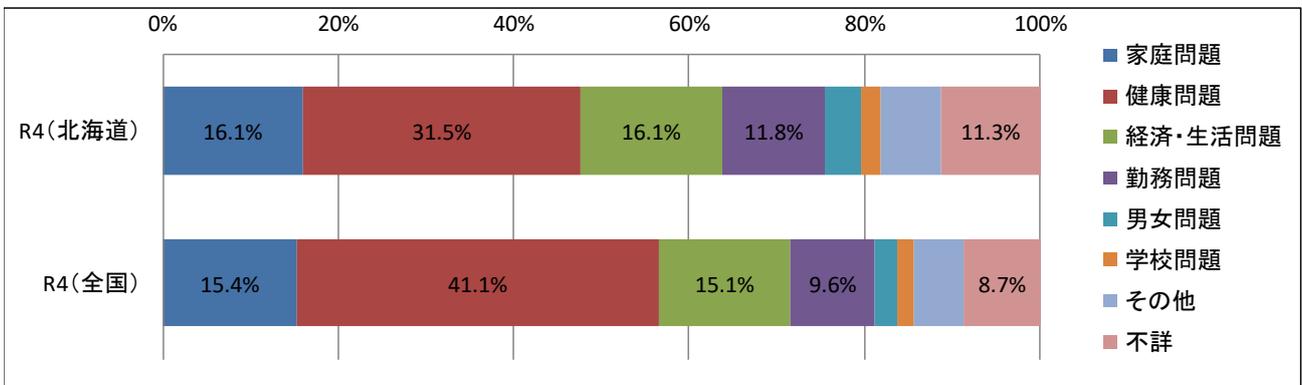
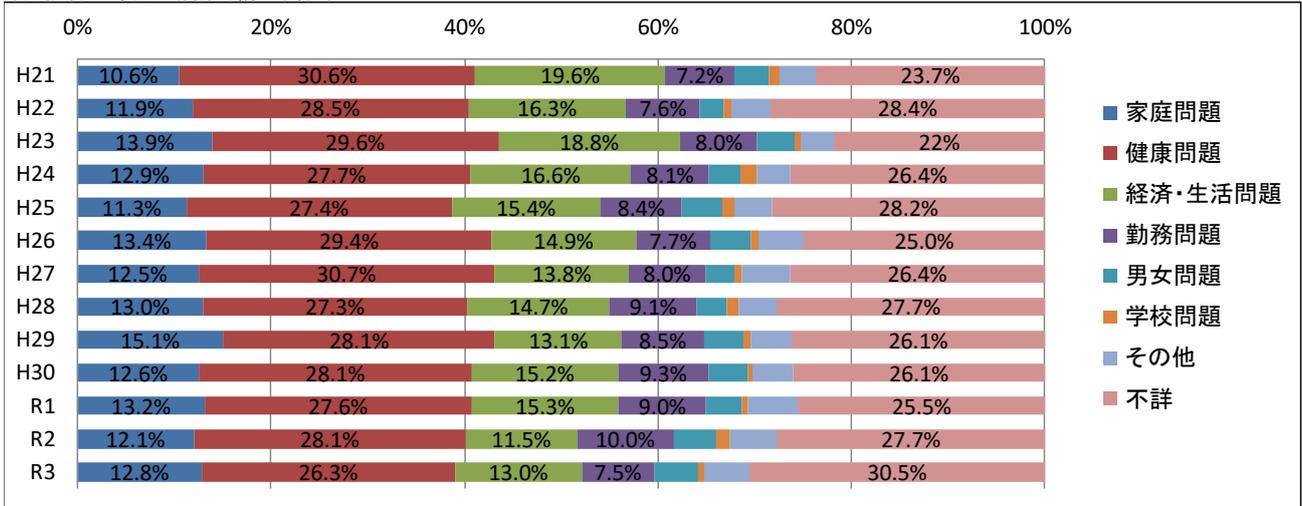


※ 警察庁の統計は、自殺の発見地における計上であり、自殺者の居住地で計上する厚生労働省の人口動態統計とは、総数が異なります

6. 原因・動機別状況（警察庁自殺統計）

- 令和4年における自殺者の原因・動機別状況を見ると、北海道では「健康問題」の占める割合が最も多く、次に同率で「家庭問題」と「経済・生活問題」が続きます。
- 全国と比べて北海道は「健康問題」の占める割合が少なく、「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」等の占める割合が多くなっています。

[自殺者の原因・動機別構成割合]



※ 令和3年以前は遺書等の自殺を裏付ける資料により、明らかに推定できる原因・動機を一人につき3つまで、令和4年以降は4つまで計上し、構成割合を算出しているため、自殺者総数に占める割合ではありません。